

招待されて気づいた。

なぜタダでも万博に行こうと思えないのか

松本歯科大学常務理事 飯島勲
松本歯科大学 松本 飯島勲
松本歯科大学 松本 飯島勲

今月号は『プレジデント』4月4日号「リーダーの掟 飯島勲」より、「招待されて気づいた。なぜタダでも万博に行こうと思えないのか」についての記事を要約して紹介します。



「幻想的な空間」をイメージした大阪ヘルスケアパビリオン

日本初の万博は、「人類の進歩と調和」というテーマのもと1970年に大阪で行われた「日本万国博覧会」だ。芸術家の岡本太郎氏が万博のシンボルとしてデザインした「太陽の塔」は大阪府吹田市に現在も残っている。私にとっては、小泉内閣時代に愛知県で行われた「愛・地球博」も印象に残っている。メインターマとして「自然の叡智」が掲げられた万博で、環境問題に関する展示も多かった。

そして今回の大阪・関西万博の最大の心配事といえば、チケットの売れ行きである。公式サ

イトでは、3月26日時点でのチケット販売情報は約850万枚となっており、大阪府の吉村洋文知事が掲げた売り上げ目標の1400万枚にはまだ遠い。

なぜチケットの売れ行きが悪いのかを考えていたところ、万博参加国のある関係者から「チケットを贈るので、ぜひわが国のパビリオンを見に来てくださ」と電話をもらった。チケットをいただくのはうれしいが私の心境は少し複雑だった。関東に住んでいる私が大阪の万博に行くには、当然ながら新幹線か飛行機に乗る必要がある。そし

て、すべての展示を見ようと思つたら1日で終わるはずもなから、ホテルも予約する必要もある。そして、私ひとり万博を見に行つてはあとから妻に何と言われるかわからない。妻も誘わなければならぬから、費用は倍になる……。

ここまで考えたところで、ハッと気がついた。私は「万博会場で見られるのか」をまったく知らないのだ。70年の万博であれば月の石、2005年の愛・地球博は冷凍のマンモスなど、万博といえばこれという目

玉があつたが、報道で入つてくる万博の情報といえば工事の遅れと、会場を囲む大きな木のリング（大屋根）の安全性を懸念するくらいのもので、何が展示されるのかという情報がまったく入ってこない。だから、万博に招待されてもワクワクしなかつたのだ。

チケットの価格も、時間や曜日を問わず入場できる「1日券」で大人7500円、最も安い4月26日まで入場可能な「開幕券」で大人4000円と、決して安くはない。確かに会場近隣のユニバーサル・スタジオ・ジャパンよりは割安だが、展示物や乗り物などの情報がわからないから、チケット代に見合う楽しみがあるのか判断できないのではないかと。万博に来れば、こんなすごいものが見られる。「万博ではこんな楽しいことが待っている」というアピールがなければ、安くはない金額を払つて行くことは思わない。

ただ、現在になってパビリオンでどのような展示が行われるのかは少しづつ見えてくるようになった。一例を挙げると、パチカンのパビリオンではイエス・キリストの埋葬を描いたカラヴァッジョの「キリストの埋葬」が展示される。これは21年に国立新美術館で展示される予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大があつて輸送が困難となり、今回が約30年ぶりの来日となる。

日本初上陸の展示もある。イタリアのパビリオンで展示予定となつている「ファルネーゼのアトラス」だ。ギリシア神話の神アトラスが巨大な天球儀を担いでいる像だ。2作とも世界的な傑作なので、写真を見たことがある人は多いと思うが、本物を見ることでしか得られない体験というのは、確実にあると思う。そして初上陸ではないものの、面白い「再上陸」もある。マルタのパビリオンで展示される日本の甲冑だ。これは幕末に遣欧使節団がマルタに贈呈したもので、実に約160年もの時を経て日本に里帰りしたことになる。

第2学年有志の新入生サポート隊

学生寮の引っ越し荷物搬入を手伝う

第2学年の有志13人は「新入生サポート隊」として4月5日（土）・6日（日）の2日間、学生寮・キャンパスインに入寮する新入生の引っ越しをサポートした。施設設備の細かい説明や、学生生活のアドバイスなど

も行い、先輩として新入生を温かく迎えた。

メンバーは、横山湊太君、山本一瑛君、小野公聖君、小嶋武君、森川大暉君、中野涼太君、青木日奈さん、中村美香さん、原口隆君、千代諒和君、古俣海翔君、溝淵蓮ウイリアム君、角田優佳さん、横山君が隊長を務めた。

2日間とも早朝から夕方まで、引っ越し荷物の搬入などを手際よく手伝い、各部屋の設備の詳

細やゴミステーションの利用方法、大学生活についての説明、近隣での買い物についての説明、新生活に必要なさまざまな情報を丁寧に伝えた。

横山君は自分自身が1年前、期待と不安を胸にキャンパスインに入寮する際、先輩たちに優しく丁寧に荷物の搬入を手伝ってもらった経験があり、「今度は自分たちが後輩たちをサポートしたい」と、サポート隊として活動することを決めたという。

「キャンパスインの規則を守り、楽しい学生生活を送っていただくことを目指して、一人一人に誠意をもって対応した」と2日間を振り返った。新入生の保護者から贈られた各地の菓子の差し入れにも感謝し、「後輩の皆さんがキャンパスインで楽しく生活し、勉学に励むことが出来るように引き続きサポートしていきたい」と話している。

第2学年生による、恒例の新生歓迎夕食会「ウェルカムディナー」が入学式翌日の4月11日（金）、学生食堂で開かれた。新入生65人が参加し、教職員

も加わり、特別メニューの夕食をともしながら和気あいあいと交流した。

新生活の不安や緊張を和らげてもらい、新たな仲間づくりの

特別メニューの夕食とゲームに盛り上がる

新入生歓迎夕食会「ウェルカムディナー」

第2学年生による、恒例の新生歓迎夕食会「ウェルカムディナー」が入学式翌日の4月11日（金）、学生食堂で開かれた。新入生65人が参加し、教職員

も加わり、特別メニューの夕食をともしながら和気あいあいと交流した。

新生活の不安や緊張を和らげてもらい、新たな仲間づくりの



和気あいあいと夕食会を楽しむ新入生

機会も提供できたらと、毎年第2学年の有志が実行委員会をつくって開いている。今回は12人がメンバー（委員長・横山湊太君）となり、それぞれが個性を發揮して準備した。

開成式で中村浩彰歯学部部長は、あらためて新入生を歓迎する気持ちで伝え「楽しんでしつ

かり食べてください」とあいさつ。学年主任の安藤 宏教授も「みんなで協力していい雰囲気を作って、頑張っていってください」と新一年生の団結に期待した。

参加者全員でお茶や水で乾杯し、夕食会のために作られたユニークなハンバーグと大きなエビフライをメインにした特別メニューを味わった。

新入生たちは互いに出身地について話したり連絡先を交換したりして徐々にリラックスし、先輩や教職員との会話も楽しんでいた。

実行委員たちが「新生活であつたらいいな」をテーマに選んだ、加湿器やトースター、ノート、蛍光灯、駄菓子など、さまざまな景品が当たるビンゴゲーム大会もあり、大いに盛り上がった。

創立者の「視点」



大学誌編集主幹 特任教授 笠原 浩

前回、日本人のHIV感染者の第1号が1985年にアメリカから帰国した男性同性愛者だつたと記しました。実はそれ以前にも国内の血友病患者でエイズ発病例があつたのですが、それは秘密にされていたのです。

血友病（多くはX染色体の異常による遺伝疾患だが、突然変異による発病もある）は止血機構に必須な第8因子や第9因子が欠乏しているため、患者は創傷などからの出血などが止まらず、失血死する恐れがありました。

しかもわが国では、88年まで非加熱製剤が使われ続け、結果的にはさらに多数の血友病患者（公式発表では千四百名とされる）が、実際には約五千名の患者の大半と言われていることが感染してしまいました。

全身疾患と口腔 その3 エイズ②

これは厚生省当局の失態です。血液製剤の在庫を抱えていた薬品会社に付度したと言われても仕方ないではありませんか。 やがて社会的にも大問題になり、国会では非加熱製剤の使用継続を容認した厚生省エイズ研究班班長の安倍英・帝京大学教授や非加熱製剤の回収を怠つたミドリ十字社らの責任が厳しく追求されました。裁判も起こされ、安倍氏らは処罰され、国の責任による救済や国家賠償の対象ともなりました。

これまでも、森永砒素ミルク事件やサリドマイド事件といった医療過誤事件が少なくはありませんでしたが、薬害エイズはその最大のものとして、厚生労働省正面玄関前には、その反省の意を込めた「誓いの碑」が設置されています。

2025年度 松本歯科大学病院臨床研修を開始 ～新たに40名の研修歯科医が参加～



松本歯科大学病院臨床研修許可証を樋口病院長(右)より受ける研修歯科医

4月1日(火)、本学図書会館学生ホールに、松本歯科大学病院において臨床研修を希望した40名の歯科医師国家試験を合格した歯科医師が参集し、樋口大輔病院長より松本歯科大学病院臨床研修許可証を授与された。

40名は既卒で、そのうち1回帰国後に再度松本歯科大学病院にて研修を希望した歯科医師をはじめ、他大学出身者3名を含む研修歯科医が研修を開始することになりました。

4月1日(火)～4日(金)は本学病院や学校法人松本歯科大学に奉職するのに必要な事項の説明や手続きがオリエンテーションとして行われ、4月7日(月)からは初期研修として、本学病院の歯科関連の診療科や部署の見学や説明、電子カルテシステムや基本手技の復習などを行う予定で、月末までに、主たる管理診療科が決定し、研修を行う予定です。

6年生学生の研修歯科医マッチング募集が6月から開始されます。校友子弟の皆様が御縁がありましたら、是非、本学病院の臨床研修システムに参加して頂ければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

6年生学生の研修歯科医マッチング募集が6月から開始されます。校友子弟の皆様が御縁がありましたら、是非、本学病院の臨床研修システムに参加して頂ければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

前回は大きく上回る40人が 400ml全血献血に協力

長野県赤十字血液センターの献血活動が4月16日(水)、本学で行われた。学生や研修歯科医、教職員らが、本館1階の学生ラウンジに設けられた受付カウンターを次々と訪れ、事前登録や健康チェックを受けると、順番に学生ラウンジ南側に横付けされた移動採血バスに移動、献血をした。

本学は毎年4月と11月の2回、同センターの献血活動に協力している。今回も「400ミ

リットルの全血献血」のみで行われ、昨年11月の23人を大きく上回る40人が協力を申し出て、うち38人(前回21人)が献血した。

総合診療科の研修歯科医・廣理芽先生は、研修歯科医仲間との積極発信に努めるので、機会があればぜひ多くの方に献血に協力してほしいと話していた。



献血に協力する研修歯科医(左)

同センターによると、献血血液は輸血用血液や血液製剤として医療に活用されているが、輸血用血液は長期保存ができないため、安定的に日々一定量を確保する必要がある。

一方で、少子高齢化が進むにつれて、若年層の献血協力者が減少傾向にあり、同センタースタッフは「街頭献血の情報などの積極発信に努めるので、機会があればぜひ多くの方に献血に協力してほしい」と話していた。

大学に春の息吹を感じて 満開の桜のトンネル



ソメイヨシノが満開の大学並木通り

キャンパス内にあるソメイヨシノは今季、入学式が開かれた4月10日(木)ごろから咲き始めた。第3週に入ると一気に満開となった。キャンパスには連日、多くの人が見物に訪れ、一年に一度の美しい季節を楽しんでいた。

このところ3月下旬に見ごろを迎える年もあり、今季は近年ではやや遅い開花ペースとなった。キャンパスには、桜を楽しみながら散歩や写真撮影、中にはピクニックを楽しむ人の姿も見られ、「こんなに見事な桜の大木はこの界隈で一番だね」といい思い出される。キャンパス内にはおよそ1000本の桜があり、ソメイヨシノの後は、多品種の八重桜に次々と、主役のバトンがリレーされる。

新教授紹介

(2025年4月1日付就任)

地域連携歯科学講座

教授 今井 美恵



このたび、地域連携歯科学講座教授を拝命し、4月1日付で就任させていただくこととなりました。学内および校友会の皆様には本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

私は2002年に松本歯科大学を卒業後、九州大学歯学部顔面口腔外科へ入局しました。博士課程修了後は医局の先輩に紹

介して頂いた歯科医院をはじめ福岡市内で勤務医として働いていました。開業しようかと迷っていた時もう少し勉強したいと思い、2014年より福岡医療団千鳥橋付属歯科診療所で勤務するようになり、2015年たたりハピリテーション病院歯科に移動となりました。

入院患者さんは、多くの疾患に加え後遺症や認知症寝たきり状態など様々でした。口腔にも多くの問題があり色々な工夫をしながら歯科治療を行いました。病院という環境から多職種連

携にも取り組みました。各病棟の肺炎発症数から肺炎発症率を算出して口腔ケアの効果や質を評価したり、口腔ケア中の「嘔

今井 美恵教授 略歴

2002年	3月	松本歯科大学卒業
	4月	九州大学歯学部大学院入学(顔面口腔外科)
2006年	3月	九州大学歯学部大学院卒業(顔面口腔外科)
2006年～2014年	3月	福岡市内歯科医院勤務
2014年	4月	福岡医療団千鳥橋付属歯科診療所勤務
2015年	4月	たたりハピリテーション病院歯科勤務
2017年	4月	たたりハピリテーション病院歯科 科長
2025年	4月	松本歯科大学歯学部地域連携歯科学講座 教授

みつかれ」対策などにも取り組みました。特に力を入れたのが河原式リ

マウント義歯調整法を入院患者さんに応用したことです。義歯治療による口腔機能回復は栄養改善、生活の質の向上につながることをたくさん経験しました。病院で強く感じたことは、人の一生にとって歯科は重要な診療科であることです。

私はこれまで大学の外で勤務医として働いてきましたが、24年ぶりの母校に場所を戻して医療の世界に歯科医療従事者として出ていく皆さんにこれまで経験してきたことや歯科医療の楽しさを伝えていけたらと思っています。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。開会式では、末瀬一彦常務理事による開会の辞に続き、高橋英登会長から開催趣旨と若手歯科医師への期待の言葉が述べら

3月30日(日)、東京の歯科医師会館において日本歯科医師会が初めて主催した「全国歯科大学・歯学部若手歯科医師臨床症例発表会」に松本歯科大学の代表として参加、発表しました。

本発表会は、大学に在籍する若手歯科医師(卒後10年以内)が症例報告会を通じて専門知識と技術を共有し、臨床意欲やスキルの上を図るとともに、日本歯科医師会と各大学との連携強化を目的として開催されたものです。



歯科医師会館発表会場の筆者

正歯科治療、補綴治療、再生療法、審美歯科治療など様々な分野の症例が、全身状態や疾患との関連性も含めた横断的視点で発表されており、自分の専門外の分野についても深く学べる貴重な機会となりました。

特に印象的だったのは、舌腫瘍手術後の摂食嚥下障害に対する舌接触補助床の対応や、後期高齢者への包括的歯科治療についての発表でした。どの発表も臨床技術の向上への励みとなりました。この発表会への参加は、臨床技術の向上だけでなく、歯科医療の未来を担う同世代との交流を深める素晴らしい機会となり、今後の診療に生かせる多くの知見と刺激を得ることができました。最後にこのような機会を与えて頂いた宇田川信之教授、吉成伸夫教授に感謝いたします。

(歯科保存学講座(歯周) 助手 郭子揚)

Alumni News 松本歯科大学校友会

香川県支部

竹内歯科医院院長・竹内一貴先生 学術講演会「歯髓保存の潮流」



学術講演会に参加された支部の先生方

令和7年2月22日(土)、19時から21時まで、香川県歯科医師会館において「歯髓保存の潮流」と題しての講演会が開催されました。

今回、日本歯内療法学会から昨年発表された歯髓保存療法におけるガイドラインや欧米の歯内療法学会のスタンスの違いを紐解きながら、歯髓保存におけるスタンダードを考察していた。

人事異動

退職(自都合) 3月31日付 富士 岳志 (講師 歯学部歯内科学講座)

採用(再任) 4月1日付 Rira Rai Roy (助教 歯学部歯内科学講座)

採用(新規) 4月1日付 蘇 文恵 (診療助手 病院小児歯科)

群馬県支部 日本歯科大学 東京短期大学学長 小林隆太郎先生が講演 「命を守る口腔健康管理のチカラ」

2024年11月30日(土)、令和6年度群馬県全歯科大学同窓会・校友会役員懇話会がホテルグランビュー高崎にて行われ、松本歯科大学校友会群馬県支部として7名で参加しました。

今年、日本歯内療法学会から昨年発表された歯髓保存療法におけるガイドラインや欧米の歯内療法学会のスタンスの違いを紐解きながら、歯髓保存におけるスタンダードを考察していた。

採用(更新) 4月1日付 中野翔太郎 (診療助手 病院矯正歯科)

採用(新規) 4月1日付 長島 規夫 (技術員 歯学部)

昇任(兼務) 4月1日付 奥村 雅代 (准教授 歯学部歯内科学講座)

まず初めに、日本歯科医師会副会長・日本歯科大学東京短期大学学長の小林隆太郎先生により「命を守る口腔健康管理のチカラ」をテーマに学術講演が行われました。

今後、校友会支部の活動を増やし、松本歯科大学、支部の活性化に繋げていきたいと考えております。

採用(更新) 4月1日付 吉田 美加 (診療助手 病院矯正歯科)

採用(新規) 4月1日付 山崎 三恵子 (薬局薬局長 契約職員)

昇任(兼務) 4月1日付 吉田 裕之 (診療助手 病院矯正歯科)

採用(再任) 4月1日付 飯島 勲 (特命教授)

採用(更新) 4月1日付 吉田 雅美 (初診室 派遣職員)



役員懇話会に参加した群馬県支部会員

採用(更新) 4月1日付 加藤 藻瑚 (助教 歯学部歯内科学講座)

採用(新規) 4月1日付 野澤 良子 (契約職員)

昇任(兼務) 4月1日付 奥村 雅代 (准教授 歯学部歯内科学講座)

昇任(兼務) 4月1日付 奥村 雅代 (准教授 歯学部歯内科学講座)

昇任(兼務) 4月1日付 奥村 雅代 (准教授 歯学部歯内科学講座)

Matsumoto Dental University SNS Information with QR codes for LINE, X, Instagram, and Facebook.

6月行事予定 (6月行事予定) with dates and activities like 1期試験, 1日体験入学, 役員発表会.

受験生の皆さんへ (受験生の皆さんへ) with exam dates (5月18日, 6月15日) and contact information.